

# 一般社団法人日本フロアボール連盟

## 「指導者の心得」

- 1、指導者の心構えとして共通認識  
「主役はプレイヤー」「プレイヤーファースト」。指導者は脇役でありサポーター的立場をとること。
- 2、選手の健康と安全には責任を持つこと。
- 3、選手に気づかせる指導を心がけ、自主自立の精神を育てること。
- 4、技術の向上や体力の向上のほか、スポーツの楽しさを伝えること。
- 5、選手に対し公平・公正な立場を取ること。
- 6、選手に対し結果より過程を評価してあげる事が望ましい。
- 7、選手とのコミュニケーションを大切にすること。
  - ① 選手をよく観察する。② 選手の話をよく聞く。
  - ③ 選手の意見を尊重する。④ 選手の個性を尊重する。
- 8、選手の身体には極力触れないこと。(セクシャルハラスメントに注意)
- 9、選手に対し、言動には十分注意すること。(パワーハラスメントに注意)  
特に、威圧、脅迫、皮肉、誹謗、中傷、批判等を感じる言動に注意する。
- 10、コーチ間の連携やコミュニケーションを大切にすること。
- 11、勝利至上主義より人間的成長を優先し、選手の将来を見据えて指導をする。
- 12、選手の生活指導やメンタル面の指導を大切にすること。

2024年4月1日施行